

報道関係者各位

2024年7月5日



鹿児島県肝付町
宇宙のまちづくり推進課

JAXA 認定スタートアップ (株)ロケットリンクテクノロジー 共同創業者 肝付町 (楠隼高) にて初の特別講義を実施

～2024年7月11日 (木) 午前・楠隼高1年「シリーズ宇宙学」を通じた宇宙ビジネス人材育成プログラム～



※左：第1回「九州の宇宙産業化（事業創造）への挑戦」／QPS 研究所市来副社長／2024年6月13日

※右：第2回「小型衛星・ものづくりの挑戦」／オガワ機工伊藤氏・昭和電気研究所古賀氏・QPS 研究所上津原氏／2024年6月20日

肝付町（町長：永野和行）は、昨年度に引き続き、鹿児島県立楠隼中高一貫教育校（校長：徳留敏郎、以下「楠隼高」）における特色ある教育活動である「シリーズ宇宙学」の一環として取り組む宇宙ビジネス人材の育成プログラムを支援してまいりました。当町と包括連携協定を締結（6月24日）した千葉工業大学の教授で、JAXA 認定スタートアップ・株式会社ロケットリンクテクノロジー共同創業者である和田豊氏が、来る**7月11日（木）9:35-11:15、楠隼高にて「小型固体ロケットの挑戦」と題した特別講義（第4回）を実施**します。

本プログラムは、昨年度に続き2年目を迎えますが、これまでの人工衛星に係る内容に加え、今回、初めて「ロケットのまち」肝付町に相応しい宇宙輸送に係る講師・講義内容で、また、現在13社起業している JAXA 認定スタートアップによる講義も町内・学校初めてとなります。

つきましては、この機会に、本活動の取材をご検討いただければ幸いです。なお、取材ご希望の方は、下記までご連絡ください。

鹿児島県立楠隼中高一貫教育校

大山教頭（0994-65-1192／nansyun@edu.pref.kagoshima.jp）

肝付町宇宙のまちづくり推進課

田畑・上籠（0994-65-2514／space@town.kimotsuki.lg.jp）

【参考情報】

◆株式会社ロケットリンクテクノロジー 共同創業者／千葉工業大学 教授 和田豊

学生時代、内之浦宇宙空間観測所にて観測ロケットや M-V ロケットの打ち上げに立ち会いました。打ち上げ成功に向け、実験メンバーが一丸となって打ち上げ準備作業に取り組む熱量を間近で体験し、自らの手でロケットを研究開発し宇宙に届けたいと強く思うようになりました。卒業後、大学教員としてロケット研究に従事し、研究成果を土台に低コストで量産可能な新しい固体ロケットに取り組むロケットリンクテクノロジー社の設立に至りました。起業までの高いモチベーションは肝付町に与えてもらったと思っております。本プログラムの推進が、宇宙に手が届く町でより多くの若者が宇宙を目指す契機となり、日本の宇宙産業の成長に強く寄与することを願っています。



◆株式会社ロケットリンクテクノロジー

Rocket Link Technology

ロケットリンクは宇宙への敷居を下げ「誰でも宇宙で活躍できる社会」の実現を目指して、低コストで量産が可能な革新的固体ロケットの開発に挑戦する JAXA ベンチャーです。キーテクノロジーとして LTP（低融点熱可塑性推進薬）の研究開発に取り組むとともに、新しい打ち上げ方式/回収方式の研究やロケット技術を活用した教育・人材育成などを展開。リンクとは、このようにロケット技術を通して人と人をつなげることを意味する。「革新的」と期待される LTP は、JAXA 宇宙科学研究所（ISAS）が開発したものであり、ロケットリンクは、JAXA が保有する知的財産や知見を活用した事業を展開する JAXA ベンチャーとして認定。2023 年 4 月、相模原市に設立。代表は、初代イプシロンロケットプロジェクトマネージャー森田泰弘氏。

<https://rocketlink.co.jp/>

◆鹿児島県立楠隼中高一貫教育校

鹿児島から世界を見通すリーダーを育成することを目的に、併設型中高一貫教育校として 2015 年に開校した全寮制の男子校。中高ともに全国から生徒を募集しており、中学では 1 学年 2 学級で定員は 60 名、高校からは、楠隼中学校からの入学者も含めて 90 名を募集している。校名である「楠隼」は、鹿児島県の県木かつ肝付町の町木である「楠」と、地元肝付町から打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ」、そして薩摩藩の勇敢な武士を表わす「薩摩隼人（さつまはやと）」の「隼」を象徴として名付けられた。



少人数教育を基本とした、県内でも有数の進学校。全校生徒のうち関東や関西など県外から学びにくる生徒は、およそ 3 分の 1。県内から進学する生徒も、県全域にまたがる。卒業生の進学実績は、東京大学（第 1 期卒業生から直近 3 年連続合格）をはじめとして有名な国公立大学、私立大学が並ぶ。

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/nansyun/>

【楠隼高校による宇宙ビジネス人材育成プログラム（特別講義）】

実際に宇宙ビジネスに携わる技術者・研究者等の講義を通じて、生徒が、宇宙ビジネスへの理解を深め、今秋以降、自らがテーマを設定した探究活動に取り組むことで、広い視野や好奇心、冒険・探究心、ものづくりの心を育むことを目指すことを目的として、全 5 回の宇宙ビジネス人材育成を目指した特別講義を実施。2023 年度より開始し、2024 年度は、6 月以降、九州大学発ベンチャーから上場を果たし九州を代表するユニコーン企業である QPS 研究所及びパートナー企業による講義を既に 3 回実施済。最終の第 5 回特別講義は、2024 年 7 月 18 日（木）13:15～14:55、「DX（AI・IoT）と宇宙の挑戦」（株Fusic 納富貞嘉氏）。

◆学校法人千葉工業大学×肝付町 宇宙産業に係る人材育成に関する包括的連携協定を締結（2024年6月24日）

肝付町（町長：永野 和行）は、学校法人千葉工業大学（理事長：瀬戸熊 修）と宇宙関連分野における相互交流を深めるとともに、両者が有する資源や特徴を活かし、宇宙関連産業で活躍できる人材の育成と宇宙関連技術の振興、宇宙関連交流人口増加による地域振興の推進を目的として、「宇宙産業に係る人材育成に関する包括的連携協定」を締結いたしました。



（鹿児島県庁にて行われた包括連携協定締結の様子、左：瀬戸熊千葉工大理事長・中央：大塚副知事・右：永野町長）

肝付町は、2017年1月に鹿児島大学大学院理工学研究科との包括的連携協定を締結し、宇宙分野については、JAXA 内之浦宇宙空間観測所におけるロケット打上げを町として長年支援してきた実績なども踏まえ、鹿児島大学や鹿児島県内企業等が取り組む「鹿児島ロケット」の町内打上げ（初号機（2019年9月）から5機打ち上げ）に関して、積極的な支援を実施してきました。

町内にある県立楠集中高一貫教育校での「シリーズ宇宙学」への支援も含め、宇宙開発に携わる人材育成の拠点も目指すスペースサイエスタウン構想実現を掲げる町として、これまでのJAXAや鹿児島大学等によるロケット打上げに係る支援の経験・ノウハウを十分に活かし、県外・全国の大学・民間等のロケット打上げ実験を広く誘致し、積極的に支援していく想いのもと、全国の大学も牽引し、学生ロケットの研究・打上げに取り組む千葉工業大学との連携する運びとなりました。

具体的には、大学と町が有する人的・物的・環境的資源を有効に活用し、千葉工業大学が取り組む高度技術者育成プログラム（宇宙輸送版）における同大学人材育成用観測ロケットの製作や町内での打上げを目指すとともに、大学と共同研究・開発を行う民間等の町内での企業活動や、次代を担う大学生による町内における宇宙教育活動なども呼び水となり、地域振興にも繋がり、貢献していくことを期待しています。

60年余前（1960年）、日本の宇宙開発・ロケット開発の父と言われる、東京大学生産技術研究所の糸川英夫博士が肝付町を訪れ、肝付町内之浦にロケット射場が整備され、これまで400機以上の打上げを肝付町は見守ってきました。これまでの鹿児島大学、今般の千葉工業大学との連携を機に、全国他大学のロケット打上げ実験の場として肝付町が選ばれ、活用いただけるよう、民間ロケット打上げも含め、国や県とも連携を密にしながら、必要な環境整備等に取り組んでまいります。

以上